

広報

ただみ

9
2012 月号
No. 508
平成24年9月10日



今月の表紙

只見駅前通りウキウキわいわいフェスタは9月2日に行われ、様々なイベントでにぎわいを見せた。中でも観衆の目を引いたのが「只見復興祈願みこし」。力強く勇壮な担ぎ手の大きな掛け声が会場にこだましていた。

第4回只見町

ユネスコエコパーク検討委員会.....	2~5
福島県産米の全袋検査実施.....	6~7
平成24年度只見町成人式.....	8~9
国道289号八十里県境初越え記念 子ども交流イベント 他.....	10~11
町の話.....	12~13

エリア設定の専門部会案を承認 只見町長に方針と設定案を提示

第4回只見町ユネスコエコパーク検討委員会

エリア設定案を承認

第4回只見町ユネスコエコパーク検討委員会が8月20日に朝日地区センターで行われ、検討委員と関係者が出席しました。

今回の検討委員会では、第2回の検討委員会で設置されたエリア設定のための専門部会で協議検討され、案として示されたエコパーク登録申請の際の「核心地域」「緩衝地域」「移行地域」を設定した土地利用区分についてのエリア設定案を確認、問題点などを協議、整理したうえで全委員の合意がなされ、エリア設定案を承認しました。なお、設定されたエリアは4から5ページで紹介いたします。

方針とエリア設定の内容も承認

同時にユネスコエコパークの登録申請に伴う方針とエリア設定の内容についても承認されましたので、紹介します。



▲エリア設定案を手にする
目黒町長(右)と榎村検討委員長

▼方針

ユネスコエコパークの理念は、核心地域における自然環境の保護・保全と、緩衝地域における保全・利用、そして移行地域における持続可能な地域の社会的経済的發展を実現することである。それと同時に、特徴ある自然環境・資源を背景に築き上げてきた地域の生活文化、伝統を如何に将来に継承発展していくかも重要な目標である。したがって、ユネスコエコパークの設定にあたっては、地元住民の合意形成と主体的参加が前提であり、その活動は地域住民の総意に基づくものでなければならぬ。

▼只見ユネスコエコパーク

(生物圏保存地域) 設定案

①対象地域を只見町全域および隣接する檜枝岐村の一部とする。

②核心地域は「奥会津森林生態系保護地域の保存地区(重複する越後三山只見国定公園の「特別保護地区」と「特別地域」の一部を含む)」とする。

③緩衝地域Aは「核心地域以外の越後三山只見国定公園の特別保護地区(重複する奥会津森林生態系保護地域の「保全利用地区」を一部含む)」とする。

④緩衝地域Bは「緩衝地域A以外の奥会津森林生態系保護地域の保全利用地区」、「核心地域、緩衝地域A以外の越後三山只見国定公園の区域」、「緑の回廊」、「郷土の森」とする。

⑤移行地域は「核心地域、緩衝地域A、緩衝地域B以外の地域」とする。

なお、この設定案を実現し、ユネスコエコパークの目的を達成するため、次の2項目の実施を強く求める。

⑥只見町は、核心地域を緩衝地域により取り囲む必要があるため、隣接の「町有林」、「財産区有林」を緩衝地域Bにする。

⑦只見町はユネスコエコパークの目的を実現するため、関連の事業を計画し、その実施のための要員配置と予算処置を取る。

只見町長に方針と設定案を提示

同日、ユネスコエコパークの登録申請に伴う方針とエリア設定の内容について、榎村利道検討委員会委員長から、目黒町長に提示されました。

榎村委員長は「優れた取り組み。只見町は自然とともにユネスコに発展してきた。これから

も町民の力で発展していく。町民の視点でしっかり取り組んでほしい」と述べ、目黒町長は「町民へも説明をし、一緒に取り組んでいく。只見町らしいローカルな魅力を発信していく。登録後も継続してエコパーク事業を展開し、独自のまちづくりをする」と述べました。

今後の取り組みとまちづくり

今後の進め方としては、住民説明会を行い、町民の方から意見をいただきながら、協議を重ね理解を求めていきます。さらに、11月18日(日)に季の郷湯ら里で、エコパークに関するシンポジウムを行う予定です。改めてお知らせしますので、皆さんご来場ください。

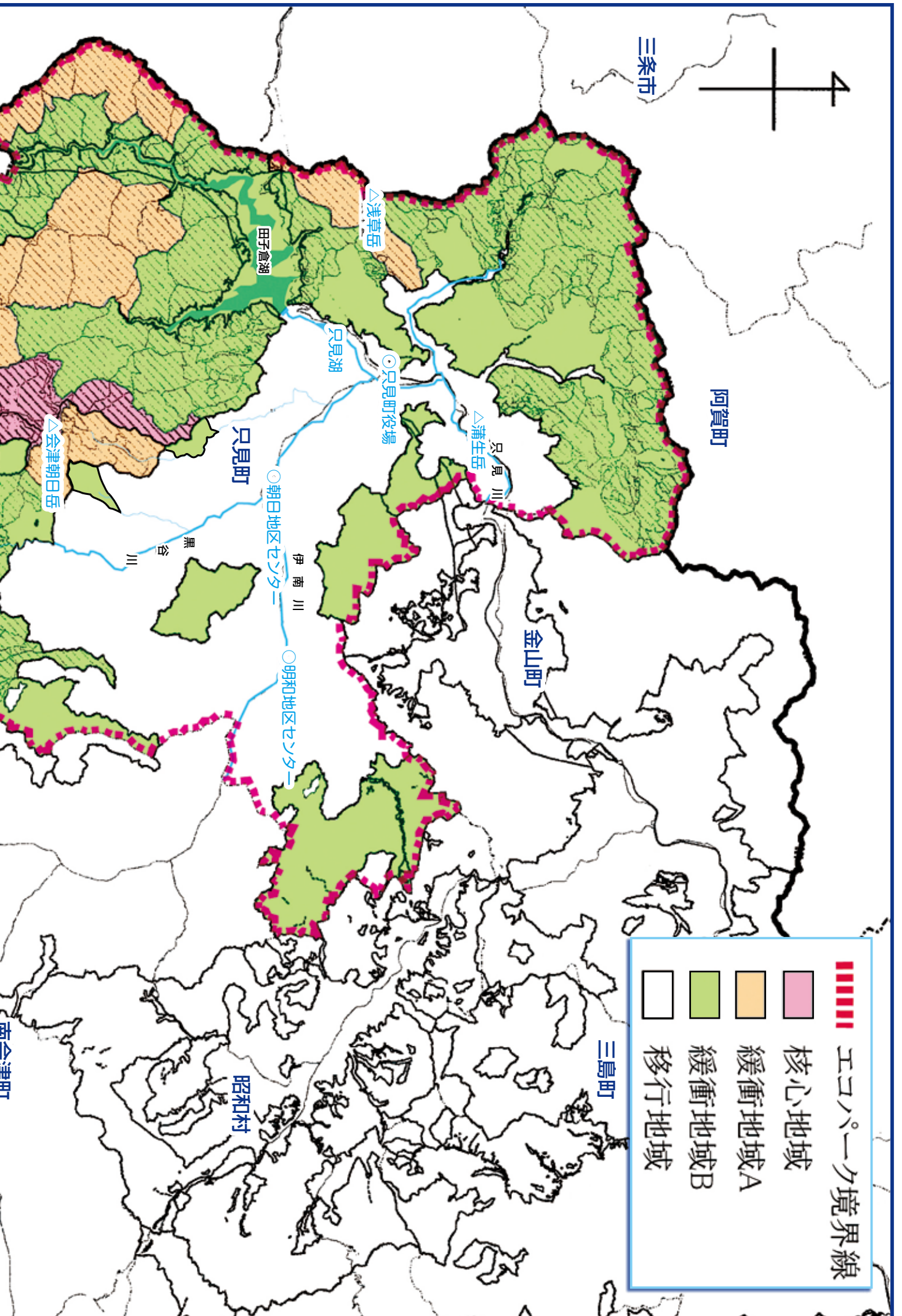
また、エコパークの登録に伴うまちづくりの考え方について、検討委員会で確認されました。今後は、エコパークの登録を見据え、まちづくりの基本理念に基づき、関連事業や様々な施策を実行していく計画です。町民の皆さんと力を合わせ、只見町の特徴を最大限に生かしたオリジナリティーあふれるまちづくりを推進していきますので、ご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。



只見町は、ユネスコエコパーク登録を目指し、事業を推進していきます。

【問い合わせ】
総務企画課 企画班
☎0241-82-5220

只見ユネスコエコパーク土地利用区分設定案





基本的な考え方

- エリア設定対象地の住民に対し、新たに強制的な規制を設けません。
- エリア設定対象地域が対象となる法令、規則に抵触しない形での設定を目指します。
- 設定案はエリア設定対象地における住民、利害関係者の合意形成が図られる内容とします。

土地利用区分にかかるエリア設定案

只見ユネスコパークは、林野庁関東森林管理局が設定した「奥会津森林生態系保護地域」の「保存地区」「保全利用地区」を「核心地域」及び「緩衝地域」として設定管理し、その他の地域を「移行地域」として設定します。ただし、ユネスコパークの設定基準では、緩衝地域は保全・利用といった幅広い目的を持って、設定されているのに対し、只見町が設定する緩衝地域は自然環境の保護・保全制度が重複指定されているなど、エリア設定地域を一つのカテゴリで包括することは困難です。そこで、緩衝地域を、核心地域に準ずる自然環境の保護を第一に管理する「緩衝地域A」と、自然環境の保全と共に、持続可能な形で利活用に重点を置く「緩衝地域B」とに区分し設定します。

区域割り	設定範囲	核心地域 【コアエリア】	緩衝地域A 【バッファゾーンA】	緩衝地域B 【バッファゾーンB】	移行地域 【トランジションエリア】
只見町全域 ※隣接する檜枝岐村の一部	奥会津森林生態系保護地域の「保存地区」 ※重複する越後三山只見国定公園の「特別保護地区」と「特別地域」の一部を含む	核心地域以外の越後三山只見国定公園の「特別保護地区」 ※重複する森林生態系保護地域の「保全利用地区」の一部を含む	緩衝地域A以外の越後三山只見国定公園の「特別保護地区」 ※重複する森林生態系保護地域の「保全利用地区」の一部を含む	緩衝地域A以外の森林生態系保護地域の「保全利用地区」 核心地域、緩衝地域A以外の越後三山只見国定公園の区域 緑の回廊／郷土の森／核心地域に隣接する「町有林」「財産区有林」	核心地域、緩衝地域A・B以外の地域
利用形態	原則立ち入り禁止	原則として、調査研究・モニタリングのみが可能	原則として、調査研究・モニタリングのみが可能	調査研究・モニタリングが可能／地元住民による伝統的な山菜キノコ類の採取慣行は可能／生態系の価値を損ねない形での活動は可能	自然環境保全に対しては、努力目標であって、制度的拘束力はない
根拠法	—	○林野庁の保護林制度 ○自然公園法（国定公園）	○林野庁の保護林制度 ○自然公園法（国定公園）	○林野庁の保護林制度 ○自然公園法（国定公園、都道府県立自然公園）	○一部地域で自然公園法（都道府県立自然公園）による規制がある

●上記の区域割りは、新たな法制度は必要なく、既存の法制度により管理・運営が行われます。

福島県産米の全袋検査が只見町でも行われます



▲コンバインによる刈り取り作業

●米の全袋検査の実施

福島県内全域で、県の指導のもと、県内で生産されたすべての米を漏れなく放射性物質検査し、安全安心をPRする事業が始まりました。

只見町は空間線量も低く、土壌や水の放射性セシウム量も低いのですが、肝心の米の検査をしなければ「只見の米は安全」と、きちんと証明することができません。そのため只見町でも検査機械を導入し、検査を行うことになりました。

検査は今月下旬以降から開始となります。今までに経験したことのない大規模な事業であり、短期間で集中的に検査をこなさなければならぬ内容になっております。この作業により米の集荷に若干の遅れが出るなど、農家の皆様には少なからずご迷惑をおかけすることになるかもしれません。風評被害を払拭するためには、福島県内全ての米を検査し、全国の消費者に安全・安心を数値で示していく必要があります。

本事業の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願い申し上げます。

●検査の対象となる米

米袋に入って30キロになった

ものについては、全て放射性物質検査の対象となります。

具体的には、JAや米屋商店に納入している米に限らず、個人販売をされている米、自宅で食べるための米、親戚などに配るための米、クズ米、飼料用米、酒米など、販売用の米か自家保有米かを問わず、検査対象となります。(ただし「モミ」は検査対象外です)

●検査の実施場所

只見町の検査場は、福井にある朝日建設(株)のブスシタケ栽培工場をお借りして、検査を行うこととなります。

●検査に使用する機械

富士電機(株)製のベルトコンベア式検査機械を使用します。検査速度は1分間に4〜6袋です。

●検査にかかる費用

放射性セシウム検査(受付から検査結果シール貼付まで)自体は無料です。

JAに出荷または等級検査に出している方や米屋商店に納品を依頼された方は、その分の運賃がかかります。

●米袋の運搬について

JAや米屋商店に納入する分の米については、例年どおり集荷委託または倉庫へ自己搬入となります。

個人販売されている米については、検査予約をしていただき、自己搬入されるか集荷業者を手配しますので、そちらをご利用いただくこととなります。なお、集荷の状況によっては、申し訳ありませんが若干お待ちいただく場合もあります。

また、自家保有米の中で、急ぎのものについては検査予約をいただいたうえで、自己搬入により検査ができますが、検査全体の調整が必要なため、各農家一戸あたりの袋数の上限を決めさせていただきます。なお、急ぎでないものは集荷業者を手配いたしますが、おおむね11月以降になりますので、ご了承ください。

なお、集荷につきましては、集荷の日に米を玄関など集荷作業のしやすい場所へ出していただけるなどのご協力をお願いいたします。

【問い合わせ先】

産業振興課 農林班

0241-82-5230

全袋検査の流れ

全袋検査は次のようにして行われます。

各農家で通常通り袋詰めをお願いいたします。

※検査場では注意して取り扱いますが、破袋防止のため、できるだけ新しい厚手の袋を使用してください。

郵送により配布される「生産者識別バーコードシール」を、米袋の中央に、横向きに貼り付けていただきます。※貼る際は向きにご注意ください。

検査場へ米袋を運び、受付します。

検査機械に通し、米袋の中に含まれる放射性セシウムの量を測定します。

50ベクレル以下

検査合格

JA
米屋商店
納入米

倉庫へ搬送

個人販売米
自家保有米

生産者へお返し

50ベクレルを超えた

検査場で再検査

50ベクレルを
超え続ける米

県の精密検査

県の検査が終わるまでお預かりさせていただくこととなります。

50ベクレル以下



○全袋検査の詳しい内容については、産業振興課農林班にお問い合わせください。



成人おめでとうございます

平成24年度只見町成人式

平成24年度只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者56名のうち51名が出席、新たな思いを胸に新成人としての第一歩を踏み出しました。

集まった新成人は、久しぶりに会った友人や仲間と笑顔で触れ合い、貴重な時間を写真に収めていました。

成人式では、目黒町長が「未来への夢や情熱を常に持ち活動してください。努力を重ね力強く人生を切り開いていってください。感謝の心を忘れず、それぞれの立場で只見の先駆者となってください。今後のご活躍を期待します」と式辞を述べました。続いて成人証書授与が行われ、目黒町長から新成人一人一人に成人証書が手渡されました。

来賓による祝辞では、齋藤邦夫町議会議長が「自らを磨き、鍛えることを人生の糧に、輝ける未来を歩んでください」と述べ、吉津五郎町選挙管理委員長は「若者らしい正義感を持ち選挙をしてください。立派な社会人として活躍ください」と述べました。

先輩からのメッセージでは、町観光協会に勤務する三瓶真人さんが「辛いこと、楽しいことをたくさん経験し、失敗を恐れずにチャレンジしてください」とエールを送り、朝日診療所歯科医師の齋藤さゆりさんは「皆さんのやさしさと豊かな感性で人を喜ばせられる人になってください。ご活躍を願っています」と期待を込め話しました。

その後、家族から贈られた成人を祝う手紙が手渡されると新成人の皆さんは、真剣なまなざしで目をとおし、目頭をおさえるなど、改めて家族の絆や家族への感謝の気持ちを実感している様子でした。

最後に鈴木優太さん（只見）が新成人を代表して「これから人生を精一杯努力し生きていきたい。只見というふるさとには疲れたとき落ち着いて考えられる場所。かけがえのない只見で成人を迎えられたことを誇りに思います。ありがとうございます」と謝辞を述べました。

式の前や終了後には、会場内や玄関前にたくさんの新成人が集い、笑顔で思いついた話したり、写真を撮ったりして、懐かしそ

うに盛り上がっていました。

新成人に手渡された成人証書は証書の隣りに成人式当日に撮影された記念写真が貼り付けられるようデザインされており、写真を受け取った新成人は、丁寧に貼り付け、大切な思い出を手会場を後にしました。



朝日診療所歯科医師
齋藤 さゆりさん



只見町観光まちづくり協会
三瓶 真人さん

先輩からのメッセージ

精一杯努力し生きていく… 誓い新たに輝く未来へ



▲謝辞を述べる鈴木優太さん



▲成人証書を受け取る新成人



▲メッセージを述べる先輩に注目



▲家族からのメッセージに目をとおす新成人

Interview



こばやし
小林 さつきさん (布沢)

製菓の専門学校で学んでいます。目標はパティシエになること。将来は自分の店を持ちたいです。只見は自然が豊かで心が落ち着きます。



ほし まゆ
星 真優さん (荒島)

専門学校を卒業し7月から町内で働いています。只見は自然豊かで町の人も温かく好きです。将来は只見で結婚して、子どもを産んで育てたいです。



わたなべ しょうた
渡部 将太さん (只見)

今は日立製作所の野球部に所属、練習に励んでいます。背番号は13でピッチャーです。目標は責任を果たせる一人前の大人になることです。

国道289号八十里・県境初越え記念

子ども交流イベント

国道289号八十里越地
点開発促進期成同盟会（会
長・國定勇人三条市長）の
主催により、7月26日に国
道289号八十里越の県境
で「子ども交流イベント」
が行われました。

参加した小学生は、只見
町内の只見小学校と朝日小
学校の児童15名と、新潟県
三条市立森町小学校の児童
で、國定三条市長及び目黒
町長があいさつをした後、



▲交流を深めた只見町と三条市の小学生

森町小学校の石澤菜々子さ
ん（6年）が「三条市はた
くさんいいところがありま
す。只見町のいいところも
探したいです。福島県が近
くなるので、みんなと仲良
くなれるよう交流したいで
す」とあいさつし、次に只
見小学校の新國潤平くん
（6年）が「この道路がで
きることで新潟県が近くな
り便利になると思います。
また、只見町と三条市の交
流がさらに深まると思いま
します」とあいさつしま
した。

続いて、目黒町長や國定
三条市長と参加した小学生
全員が並んでテープカット
が行われ、只見町と三条市
の交流が活発になることを
願いました。また、小学生
には「八十里越道路県境初
越え証明書」が手渡され、
福島県側から第7号橋梁
（仮橋）を新潟県側にわた
り、県境の初越えを体験し
ました。その後、只見町の
小学生は森町小学校を訪
れ、学校自慢大会などで盛
り上がり、交流を深めまし
た。

真夏の挑戦ふたたび…

国道289号フルコース踏破



▲元気に県境に到着した只見高校生（4日）

R289フルコース踏破実行
委員会が主体となり、8月4日
から5日の二日間、新潟県から
福島県いわき市までの国道28
9号（総延長325km）を自転
車と一部徒歩でフルコース踏破
するイベントが行われました。

参加したのは只見高等学校の
1年から2年の生徒26名で4名
程度のグループに分かれ、約10
kmを自転車車で走りタスキをつな
ぎました。

一昨年に初めて行われたイベ
ントですが、昨年は豪雨災害の

ため中止、今年は国道289号
の早期全線開通と只見町の復
興、新潟県と福島県の地域交流
が進展することなどの願いを込
め、再び行われました。一日目
は新潟県庁前をスタート、道路
工事中の八十里越県境付近は自
転車を押し徒歩で福島県側に入
り、目黒町長はじめ町民の方が
拍手で出迎えました。只見高校
生代表で馬場瞭さん（2年）が
「坂道が多くとても疲れまし
たが、二日目も頑張ります。この
イベントにより只見町が注目さ
れ活性化してほしい。早く復興
し町が元気になることを願
い、自分たちにできることを頑張り
ます」とあいさつし、残りのコ
ースを自転車車で走り、只見町役
場に夕方、無事到着しました。

二日目は只見町役場をスタ
ート、早朝にもかかわらず沿道か
らは町民の方が声援を送り生徒
を元気づけていました。新潟、
福島両県の至る所で地域の方の
歓迎を受け、26名の生徒は全員
で力を合わせ、予定どおり夕方、
いわき市の勿来の関公園にゴー
ル。高校生とスタッフの皆さん
は全コースを走りきった満足感
と感動を分かち合い、真夏の挑
戦は幕を閉じました。

百歳賀寿

おめでとうございます

酒井トメさん（只見）
が満百歳

8月4日に酒井トメさん
が満百歳の誕生日を迎えら
れ、同日に知事賀寿贈呈式
が自宅で行われました。

はじめに近内保二南会津
保健福祉事務所長から知事
賀寿と長寿を記念しての木
杯が贈られました。続いて、
只見町、町議会、町社会福
祉協議会、町老人クラブ連
合会、只見第三老人クラブ
などから、お祝いの記念品
などが贈られました。また、
お孫さんの酒井見菜子さん
からは、お祝いの花束も手
渡されました。トメさんの
長生きの秘訣は、好き嫌い
なくなんでもよく食べるこ
と。とのことでした。おめ
でとうございます。



▲百歳の酒井トメさん(右)

ただみ・ブナと川のミュージアム

名誉館長「河野昭一」氏と

ブナの天然林を歩く...

自然観察会

8月1日、植物学者の河野昭一（ただみ・ブナと川のミュージアム名誉館長（京都大学名誉教授））を迎え、叶津地区・木ノ根沢のブナの天然林を歩く自然観察会が開かれました。

当日は天候も良く、福島県内外から27名が参加しました。観察地となった叶津川上流にある木ノ根沢のブナの天然林は、普段、一般の立ち入りが制限されており、只見町の中でも自然度の高い貴重なブナ林です。

河野氏は「この木ノ根沢のブナ林は、樹齢が高く梢端が枯れ始めている老木から若木まで、



▲河野昭一氏を囲んでの記念撮影(木ノ根沢ブナ天然林)

と河野氏の柔らかな語り口と穏やかな人柄で、参加者もリラックスしたなか行われました。

河野氏は最後に「このブナの森は只見町の財産であり、後世まできちんと引き継いでいくことが大事。今を生きる私たちにはその責任がある」と述べました。参加者からは「普段入れないブナ林を見ることができてよかった。今度はまた違った季節のブナの森も見てみたい」との声が聞かれ、子どもも大人も雄大な天然のブナ林につつまれ感動した観察会となりました。

様々な樹齢のブナが生育し、森が変化しているところがあるというところが特徴です」と説明されました。

昨年は、ブナの実の成り年（豊作年）で、林床にはたくさんブナの実が生が落ちていました。この実生たちが、いま朽ち果てて行くブナの老木に変わり、この森の次世代を担っていくのかも知れません。観察会は、森の雰囲気

福島市で「自然首都・只見」展開

8月17日から22日に、コラッセふくしま（福島市）で「ユネスコエコパークの登録を目指す自然首都・只見」展が開かれました。

この企画展は、只見の自然と暮らしを町外の方にも知ってもらうことを目的に行われ、只見の四季の自然とそこに生きる動植物たちや、その自然から私たちが受け取っている生物資源（山菜、キノコなど）と伝統工芸（ツル細工など）について、パネルや書籍、現物展示により分かりやすく紹介されました。また、ブナ



只見の自然と暮らしを分かりやすく紹介した展示会場

センター主任指導員の渡部和子さん（楢戸）が「只見の自然と暮らし」をテーマに講演会を同会場で行いました。

来場者からは「只見の自然の姿、食の文化、山暮らしの文化が分かった。話を聞いてよかった」との感想が聞かれました。訪れた方には原発避難者も多く見られ、只見町の豊かな自然を写したパネルを見て「福島県は原発の影響で多くの自然が失われた。その中で、これだけ豊かな自然が残っている只見町には、ぜひこの自然を大切に頑張してほしい」と涙ぐまれる方もいました。また、只見町に行きたいが、交通の便が悪く行けないという意見も聞かれました。

このように町外の方と直接話すことで、改めて只見町の自然や暮らしの豊かさを実感し、さらに町をPRする際の課題も確認できた有意義な企画展となりました。

夏の夜に歓声ひびく 盛大に盆踊り大会

昔 福祉の里盆踊り大会 の盆踊り懐かしく、笑顔あふれる踊りの輪

8月21日に長浜の福祉の里で盆踊り大会が行われました。こぶし苑、あさひヶ丘、只見ホームに入所している人たちやそのご家族、町内の各種団体や、各施設の職員、町民の方が参加して、踊りの輪をつくり旧盆踊りや会津磐梯山を楽しく踊りました。お囃子は朝日地区老人クラブの皆さんと只見地区センターなんでもチャレンジ隊（只見小学生）の皆さんが担当され、踊りには仮装行列も加わり盛り上がりました。入所者の皆さんもご家族や町民の方々とお話をしながら、心待ちにしていた盆踊りを満喫しました。今年は豪雨災害からの復興を願った花火も打ち上げられ、夜空を彩りました。



▲お囃子にあわせ、にぎやかに踊る参加者

お 明和地区盆踊り仮装大会 盆の夜を楽しく、にぎやかに…



明和青年団（佐藤雅幸団長）の主催で、8月15日の夜、明和地区センター駐車場において恒例の明和地区盆踊り仮装大会が行われ、多くの町民と帰省された方が、やぐらの周りに集いました。仮装大会には1団体「フラガール」が参加、盆踊りを盛り上げました。この日はみんなで花火を楽しんだり、おもちゃや金魚すくいなどの露店にも多くの人が集まり、にぎやかに夏の夜を過ごしました。



▲大勢の人々でにぎわった盆踊り仮装大会

県 町内小・中学生夏休み勉強会 内の大学生が学習方法を指導

只見町教育委員会が主催する町内の小・中学生を対象とした夏休み勉強会が8月20日から24日の5日間、各地区センターで開かれました。参加した児童生徒は、夏休みの課題や特に勉強したい科目などについて、大学生の指導を受けました。勉強を教えたのは、福島大学といわき明星大学の教員を目指す学生11名で、学習指導のほか、ゲームやクイズを楽しんだり、学生皆さんの経験によるアドバイスも受けるなど、貴重な勉強会となりました。



▲大学生の指導を受け勉強に集中する中学生

没 河井継之助の墓参り 後144年に遺徳を偲ぶ

没後144年の命日にあたる8月16日、塩沢の医王寺に同地区の住民7名が集い、河井継之助の墓参りを行いました。代表の塩沢観光協会会長岩渕正明さんは「例年行なっている墓前祭はできなかったが、こうして墓参りができて良かった。塩沢観光協会としては20年以上墓前祭をやっているのだから来年はぜひ行いたい」と力強く話されました。昨年の墓前祭は豪雨災害の影響で中止となりましたが、今年は10月に催しが予定されているとのことです。



▲河井継之助の墓前で手をあわせる住民の方

今 市町村対抗野球只見町チーム 年こそは初戦突破を目指す



▲只見町チームのメンバー

第6回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する只見町チームが、練習に汗を流しています。過去5回の大会はいずれも初戦で敗退。今年こそは、初戦突破とチーム一丸となって練習に励んでいます。メンバーは町内の野球チームから有志を募り、只見町出身選手3名を加えた27名で結成。只見町チームの初戦は9月9日午前11時半から、あづま球場（福島市）で二本松市と対戦します。町民の皆さんの応援をよろしくお祈りします。

懐 明和地区お盆野球大会 かしい顔ぶれ、笑顔、爽快な汗



▲優勝トロフィーを手に喜びの大倉チーム

明和地区センター主催で8月16日、明和地区恒例のお盆帰省者歓迎野球大会が盛大に行われました。明和全集落から7チームが参加、明和小と只見中のグラウンドを会場に熱戦に続く熱戦が繰り広げられました。優勝は大倉チームで準優勝は小林チームでした。昨年は豪雨災害で中止となりましたが、今年は夏空のもと、レベルの高いパワーあふれるプレーと応援の声で盛り上がりを見せた大会となりました。

先生のLife in JAPAN

Vol.20

■ Anna・George

1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。



8月は私にとって、とてもイベントの多い月でした。大変暑い日が続きますが、良い季節の中で過ごすことができました。そんな日々の中、たくさん夏の祭りを楽しむことができました。金山町の沼沢湖の祭りや柳津・須賀川それぞれの花火大会にも行ってきました。それらのイベントに浴衣で参加してきました。はじめの浴衣でしたが、それはちよつと動きにくいことがわかりました。

お祭りの時に出てくる屋台の食べ物も大好きです。只見のマトンケバブはこの間、3回も食べました。やつぱりマトンケバブが一番です。焼きそばを食べ、ラムネも飲みました。ラムネの



瓶を開けるときはいつもひどいことになってしまいます。

この夏にはじめて新潟の海に行く予定です。長い間ビーチに行く機会を失っていたので、本当に楽しみです。イングリランドに住んでいるときはビーチがとても近くにあり、私が子どものころ、夏休みには自転車でビーチに行き、多くの時間を過ごしていました。今回海に行くときは、絶対に「雨」が降らないことを祈っています。

中学生の英語弁論大会が近づいてきました。只見中の生徒には一生懸命練習した成果を出して、ベストな発表をしてほしいと思います。

(訳・只見中・平野)

広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 中曾根 悦子

『咳について』

皆さん、こんにちは。暑い夏、いかがお過ごしでしたか？今回は、呼吸器の症状で最も多い「咳」について少し書いてみたいと思います。

咳には、期間で分けた「急性咳嗽と慢性咳嗽」、痰があるかないかで「湿性咳嗽と乾性咳嗽」というのがあります。ほかに、3週間以上続く遷延性咳嗽というものがあります。以上続く遷延性咳嗽というのがありますが、代表的なのが、感冒後遷延性咳嗽です。感冒症状は治まったのに、咳だけが残ってしまふというものです。これは、多くの方がご経験されているかもしれません。この感冒後遷延性咳嗽は、自然経過でだんだんおさまるといわれています。ただし、中には肺気腫や気管支ぜんそくなどを基盤として長引いていることもあり、息が最後まですえない、ヒューヒュー、ゼーゼーなどあるときは受診してください。

次は、2カ月以上続く慢性咳嗽についてです。「咳は出るが、ずーっと前からだから」と、あまり気にされないこともあるかもしれません。しかし、2カ月以上咳が続く場合は、肺がん、結核、喘息、肺気腫、副鼻腔炎、間質性肺炎など精密検査や治療が必要な病気が隠れている場合がありますので、長引く咳の場合も一度は受診をお勧めします。

ほかにも、咳にはいろいろな原因疾患があります。花粉、湿った木造家屋、鳥、キノコ栽培などのアレルギーや空調が誘因で咳が出る疾患や、胃酸の逆流が原因となる場合、鼻・副鼻腔が悪くて咳が出る場合などです。咳の時期・誘因、痰があるのかどうかなどを教えてください。咳の治療には、原因次第ですが、一般的な飲み薬のほかに漢方薬、吸入薬があります。特に昔なかった吸入薬は、使いにくいいため抵抗がある、あるいは、うまく吸入できないことがあるかと思えます。しかし、飲み薬に比べて全身への副作用を減らすことができるため、咳の原因疾患によっては、主役となります。たとえば、気管支ぜんそくや肺気腫の治療では、吸入薬が主役です。吸い方がわからないときや不安があるときは、ご遠慮なく私たちや薬局等にお声をおかけください。

以上、咳についてでした。何かご不明な点やご心配な点がございましたら朝日診療所に相談ください。



町史

つとておきの話

218

森林総合研究所東北支所

林 雅 秀

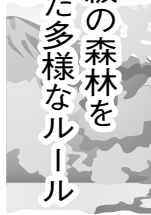
共有林はムラの財産／只見町の共有林に学ぶ①

▼森林総合研究所は、農林水産省所管の独立行政法人です。森林や林業について試験、研究等を行い、森林の多様な恵みを生かした循環型社会の形成に寄与することを目的に運営されています。以前「里山イニシアティブ」に資する森林生態系サービスの総合評価手法に関する研究」という調査が只見町で行われました。

▼今回、「共有林を管理するための、自主的ルール」の形成（平成23年度）、そして「開かれた」モンズへの移行に関する多面的・体系的アプローチ・共有林を事例として」（平成24・26年度）という新たな研究テーマで只見町が調査地となっています。同研究所のほか、東京大学・東北大学・岩手県立大学・立教大学の研究者も参加されています。

▼このような調査を通じて、町の自然や社会慣行が

世界遺産級の森林を支えてきた多様なルール



2009年、私は森林総合研究所を中心に行われていた前述の研究プロジェクトのお手伝いをする事になりました。はじめて只見町を訪れました。只見町にはブナを中心とする世界遺産級の貴重な森林生態系が残されており、その生態系にはさまざまな経済的・文化的な価値があることが明らかにされ、そのことは広報ただみバックナンバーでも紹介されています。しかし、只見地域の貴重な生態系はただ単に残ったわけではありません。人々に利用されつつ、その利用に一定のルールが課されたから、残ったのだと思います。

最初に只見町を訪れたとき、すぐ隣の集落（行政区）に行くと、共有林に関していふ異なるルールが採用されている、という事実には私は強く興味を惹かれました。ある集落では部外者は入山料を払えばすべての共有林に入ることができ、一方別の集落ではきびしい入山禁止措置をとって部外者が共有林に入ることは一切許されないとといった違いです。そうしたルールには明文化されているものも、暗黙のルールもあります。

何度も訪れるうちに、共有林の利用や管理に関して、集落によって、地形・生態・歴史に合わせたさまざまなルールが存在することがわかってきました。

生態系だけでなく、それを管理するルールも多様だったのです。こうした多様なルールがなぜ生まれたのかを明らかにすることが現在の研究関心事です。これまでに布沢・坂田・塩ノ岐・黒谷・小川・檀戸・只見・叶津・蒲生・塩沢などの各集落で、区長さんや共用林野組合長さんに

お話を伺い、必要な場合には区長さんや個人のお宅に保存してある貴重な資料を拝見・撮影させていたいています。

共有林管理について、只見町では、なぜこれほど多様なルールが存在しているのでしょうか。この問いに対する十分な答えを得るには今後の調査結果を待つ必要がありますが、一つの仮説はこうです。つまり、集落のことは集落が自主的に決める、言い換えれば集落の自治とも言える慣習あるいは制度が

只見町では今も生きています。こそ、集落ごとに多様なルールがみられるのではないかということなのです。ほかの集落のやり方を参考にしたり、町や県などの行政の意見を聞いたりすることはあっても、基本的には自分たちの共有林なのだから、自分たちで決めます。そうした集落の自治あるいは自立性が多様なルールとその帰結としての貴重な森林生態系を支えているのではないのでしょうか。

こうした私たちの研究関心の背景には、「コモンズ」の研究が世界的に注目されていること



共有林への入山ルールを示す横断幕

があります。今年惜しくも亡くなられたアメリカの政治学者エリノア・オストロム氏は、コモンズが地元のコミュニティによって管理されるべきであることを明らかにした業績が評価され、2009年にノーベル経済学賞を受賞しました。コモンズとは共有資源のことで、具体的には漁場や共同牧草地、共有林などの資源を指します。詳しくは次号以降でご紹介することになります。日本の共有林は世界の研究者から関心を集めているのです。

町民文芸



只見短歌会

七月詠草

大塚栄一 指導

小倉キミ子

草刈りのすみたる畦に一本の細きあざみは爽やかに立つ

古川 英子

漸くに人工透析に慣れし夫か帰りし声に力こもれり

馬場 八智

目まぐるしく変る政策に関心の薄れて今日も畑の草取る

関谷登美子

中学の思ひ出深き恩師逝き墓に詣でむと友と連立つ

渡部ゆき子

新緑の山辺彩る栗の花しるき匂ひは風に乗り来る

五十嵐夏美

月例の詠草の端に連絡やみつをなどの詩を書き添へくるる

目黒 富子

孫ら遊ぶ姿を視野に入れてわが急ぎ夕餉の茎立ちを摘む

渡部ヨリ子

毎日の暑さ続けば花も野菜も萎れきて雨の降りくるを待つ

新国 洋子

リハビリと言ひ一輪車押してゆく退院の夫の足のふらつく

(出 詠 順)

只見俳句会

八月例会

目黒十一 指導

笑 羊

朝飯前露にまみれて野良におり
日のかげり青虫枝に息を吐く

康 女

測量士赤き杭打つ青田風
あじさいの青一入の雨上り

リウコ

幼らに残したきこと雲の峰
草刈や野に在る菖蒲大株に

都

声上げて亡き兄を呼ぶ青田風
茄子苗を植うる夕日に照らされて

一 穂

板の間の足裏に付く梅雨の夕
一斉にエンジン音や夏草刈

敦 子

被災せし家も新に盆用意
風欲しき風船葛軒下に

礼

流水式発電機成る日の盛
一いつ時の朝の畑や涼新た

修 一

初茄子を二つ供えて父偲ぶ
村中に慣れぬ声聞き盆支度

一 灯

かなかなや三日の生命懸命に
生き残る蟻も瓦礫の中探す

又壺歩

くり返し日付取り出す夕端居
昼寝覚め出されし水の旨きこと

邦 男

開設の老人ホームや草茂る
送電の鉄塔補修や雲の峰

恒 夫

暮農いんぎん継ぐ話に加わりぬ
亡き人に問うことばかり盆用意

吉 児

宵闇をほのかに揺する盆灯籠
地に座して媪一人居門火焚く

隆 堂

濁流に日の照り返し栗の花
鎮もれる神社や咲ける合歡の花

邦 夫

秋めくを近ごろ気づく蔵の影
ハイヒール音こつこつと白日傘



今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

RECRUITMENT

募集

南会津会職員

採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を運営する社会福祉法人南会津会では、次により職員採用候補者試験を行います。

●採用予定職種

及び採用予定人員

- ◎看護職員 若干名
- ◎介護職員 若干名

●採用予定年月日

平成25年4月1日

●受験資格

年齢・学歴は問いませんが、次の各項目に該当することを必要とします。

- ①南会津郡内に住所を有し、又

●試験の方法

- ①日本の国籍を有しない者
- ②禁固以上の刑に処せられた者

※ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できます。

- イ、介護職員は、介護福祉士（介護福祉士養成施設を平成25年3月までに卒業する資格取得見込者を含む）、又は、社会福祉士、介護支援専門員、看護師のいずれかの資格取得者

ア、看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許の取得者（看護師養成施設を平成25年3月までに卒業する資格取得見込者を含む。）

③次の資格を有する者
ア、看護職員は、保健師助産師看護師法に定める看護師免許の取得者（看護師養成施設を平成25年3月までに卒業する資格取得見込者を含む。）

は採用後南会津郡内に居住することが確実な者
②普通自動車一種免許取得者又は平成25年3月31日までに取得見込みの者

①第一次試験

ア、一般教養試験（高等学校卒業程度）

②第二次試験（第一次試験合格者のみ）

ア、作文試験
イ、面接試験

●試験の日時及び場所

①第一次試験

ア、日時 平成24年10月21日（日）午前10時30分（受付は10時から）
イ、場所 南会津町田島あたご館（旧田島町中央公民館）3階 研修室
（南会津郡南会津町田島字後原甲3586-1）

②第二次試験（第一次試験合格者のみ）

ア、期日 平成24年11月25日（日）
イ、場所 南会津町田島あたご館（旧田島町中央公民館）3階 研修室

●試験結果の発表

第一次試験の結果については、11月上旬に本人に通知します。

●受験手続及び受付期間等

①申込用紙の交付及び請求
申込用紙は、当法人の施設等で交付します。なお、郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、返信用の120円切手を同封し、返信先の住所等を明記のうえ、社会福祉法人南会津会本部事務局に送付してください。

②申込用紙の提出
申込用紙に必要事項を記入し、最近6カ月以内に撮影した本人の写真（上半身、脱帽、正面向、縦4cm×横3cm）を写真欄に貼って、社会福祉法人南会津会本部事務局（特別養護老人ホーム田島ホーム内）に提出してください。

▼問い合わせ

この試験の詳細については、次にお問い合わせください。
社会福祉法人南会津会本部事務局（特別養護老人ホーム田島ホーム内）
南会津町永田字風下3-1

☎ 0241-63-1118

税 今月の納期

- 9月25日までに納めましょう
- 国民健康保険税（3期）
- 水道使用料（2期）
- 農集排使用料（9月分）
- 介護保険料（3期）
- 後期高齢者医療保険料（2期）

③免許証等（写し）の添付

受験資格を確認するため、受験申込用紙に資格を証する免許証等の写しを添付してください。なお、介護福祉士養成施設卒業見込者は、養成施設の長が証明する卒業見込証を添付してください。

④申込受付期間

受付期間は、平成24年9月10日（月）から平成24年10月5日（金）までです。（執務時間中に限ります）なお、郵便による申込用紙提出は、平成24年10月3日（水）までの消印のあるものに限り受け付けます。

次により献血を行います。 皆様のご協力をお願いします。

実施日	献血時間	献 血 場 所	
		事業所名	所在地
9月27日 (木)	10:30~12:30	(株)会津工場	二軒在家字上タモ721番地-1
	14:00~16:00	只見町役場本庁舎	只見字雨堤1039番地
	16:10~17:30	只見高等学校	只見字根岸2358番地
9月28日 (金)	8:30~10:30	電源開発(株) 田子倉電力所	只見字新屋敷1604番地
	11:00~13:30	保健福祉センター	長浜字久保田31番地
	15:00~17:00	ティーエヌアイ工業(株) 会津工場	楡戸字椿59番地-1

【問い合わせ】保健福祉課保健班 ☎0241-84-7005

町職員の新規採用・退職

○新規採用町職員（8月1日付）

産業振興課 農林班 市川 暁いちかわ さとる（派遣職員）

※市川さんは豪雨災害に伴う復旧作業の応援職員で北海道後志総合振興局産業振興部林務課から派遣されました。



○退職町職員（7月31日付）

産業振興課 農林班 岩上 孝一（派遣職員）

※岩上さんには豪雨災害に伴う復旧作業の応援職員として4月から4ヵ月間お世話になりました。ありがとうございました。

町内の各小・中学校では、6月末から1学期末にかけて、全校児童生徒を対象に防災教育を行いました。この授業は、昨年7月に発生した豪雨災害の記憶を風化させることなく、その教訓を生かして、いざという時の対処の仕方や避難方法などを再確認することを目的に行われたもので、今後も続けて行い、児童生徒の防災意識を高め、災害に強い町づくり活動に学校教育の分野でも積極的に取り組んでいこうとするものです。

災害から身を守る知識を養う
**町内小・中学校
防災教育**

町 長 室 日 誌

〈 8 月 分 〉

- 1日 朝日財産区委員辞令交付式
- 2日 災害派遣職員辞令交付式、全会津消防連絡協議会懇談会
- 3日 R289号フルコース踏破出発式
- 4日 酒井トメさん百歳賀寿贈呈式、R289号フルコース踏破出迎え
- 6日 奥会津5町村活性化協議会役員会
- 7日 只見町議会8月会議、県優良納税組合感謝状伝達式、須佐信夫氏叙勲伝達式、
- 8日 国道289号建設期成同盟会県内要望、県庁企画調整部長打合せ
- 9日 南会津地方老人クラブ大会、南会津地方広域圏組合管理者会、南会津地方環境衛生組合第2回管理者会
- 10日 全会津商工観光推進大会、両沼地方・只見川電源流域町村長情報交歓会
- 15日 成人式
- 18日 須佐信夫氏叙勲祝賀会
- 20日 ユネスコエコパーク申請案答申
- 21日 第11回福祉の里盆踊り大会
- 22日 只見・金山・昭和県道改良促進期成同盟会役員会、総会
- 23日 南会津地方広域圏町村圏組合第2回定例会、南会津地方広域圏組合議会全員協議会、防衛白書説明会
- 24日 南会津地方環境衛生組合定例会
- 27日 町長予算査定
- 28日 教育委員懇談会
- 30日 会津総合開発協議会顧問国会議員への要望会・懇親会（～31日）

第65回県総体県民スポーツ大会 南会津郡大会 壮年ソフトボール競技 結果

と き：8月19日／ところ：びわのかげ運動公園（南会津町）

成績	チ ャ ム 名
優 勝	南 郷（南会津町南郷）
準優勝	只 見（只見町）
第3位	田部原（南会津町田島）
	檜枝岐（檜枝岐村）

町民の消息

(8月1日～8月31日届出分・敬称略)

■おくやみ申し上げます

齋藤 千ヒロ	83歳	亀岡
馬場 ハルミ	95歳	蒲生
吉津 ミユキ	85歳	黒谷
大竹 寅喜	86歳	長浜
梁取 スエ	96歳	小林
五十嵐 ヨシイ	100歳	長浜

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成24年8月1日現在

人口	4,785 (-3)
男	2,300 (-6)
女	2,485 (+3)
世帯数	1,842 (-2)
高齢化率	41.3%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 11 転出 11 出生 4 死亡 7

▽昨年は豪雨災害により中止となった「只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ」が今年は9月2日に行われました。豪雨以降は明るい話題も少なかった只見町でしたが、お昼からスタートしたこのイベントには、町内外から大勢の方々が詰めかけ、にぎわいました。夕方には復興祈願みこしが繰り出し、夜は豊年踊りと仮装大会が行われるなど、元気な笑顔と笑い声が一日中会場内に響いていました。▽復興まではまだまだ時間がかかりますが、このイベントで見られた元気な町民の皆さんの姿に、必ず復興のときは訪れると確信いたしました。

あとながき

地区センター長
馬場 博美

只見地区センター
図書室 ☎ 82-2141

おすすめ新着図書

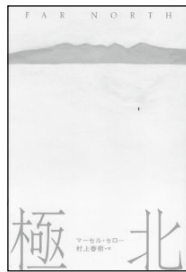
★コレキヨの恋文



三橋貴明／著 (小学館)

笑って泣いて経済もわかる傑作小説誕生! 混迷の日本。現在と驚くほど似ていた時代があった。リーマンショック、ユーロ危機VSウォール街大暴落。デフレ円高不況VS昭和大恐慌。東日本大震災VS関東大震災。そして頻繁に失脚する総理大臣…そんな昭和初期に7度の大蔵大臣と首相として日本を世界恐慌から脱出させたのが、希代の財政家・高橋是清だった。不況が続く201X年、大混乱を経て初々しい女性宰相が誕生した。官邸での就任パーティ。増税・緊縮財政路線の財務省と成長路線の補佐官との板挟みに疲れた霧島さくら子首相は官邸の庭に出ると桜の下で髭を蓄えた和装の老人に会う。二人はお互いを知らぬまま政治、経済状況を語り合うのだが、不思議と平仄が合う。さくら子は老人の確信に満ちた話に感銘を受け、それをヒントに、財務省の筋書きとは違う大胆な経済成長策を打ち出す。果たしてそれが奏功し、日本はデフレ不況から脱することが出来るのか。何度かの邂逅で、さくら子は、老人はもしまや高橋是清翁では、と思い始める。ということは…老人は2月26日に大変な不幸に巻き込まれてしまうのではないかと! どうする、さくら子! 笑って泣いて、日本と世界の経済の仕組みがストンとわかる傑作小説誕生!

★極北



マーセル・セロー／著 (中央公論新社)

文明の残骸、絶望と飢餓…極寒の地で命をつなぎ、最果ての迷宮に足を踏み入れた私は…英国新鋭の壮大にして異色の長篇小説。

★こびと大百科



なばたとしたか／著 (長崎出版)

「こびと」を見るための「観察ガイドブック」です。こびとの観察方法、生態、捕獲の仕方などをイラストと写真で解説。「こびとづかん」・「みんなのこびと」に登場したこびとを含め、大幅に増量の20種類のこびとについて詳細に記載。この本を片手に探せば、きっとこびとが見つかります。

★図書室に関するご要望や、購入図書のご希望など、お気軽にお寄せください。

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



トチノキの花序 (写真1)

トチノキ

(学名 : *Aesculus turbinate*)
[トチノキ科 トチノキ属]

トチノキは、大きなもので樹高が20~30メートル、直径が2メートルに達し、日本の冷温帯を代表する樹木の一つです。また、人間との関わり合いが深い樹木です。

花期は5月から6月で、枝先に円すい状の花序が直立して咲きます(写真1)。この花からは、甘味が強く、独特な香りのする蜂蜜が取れます。

9月には果実が熟し(写真2)、直径約3センチの種子(トチの実)が地面に落下します。人は、この種子を拾い、アクを抜き、粉に挽いて、米粉やそば粉と混ぜ合わせ、とち餅や煎餅、団子などにします。只見町では、かつては救荒食として利用されましたが、今では嗜好品として賞味するようになっています。

木材は、独特の杓目の美しさから、家具や木工品に使われます。



トチノキの果実 (写真2)

企画展示

○只見の川と水辺の生き物たち

只見の川にすむ魚類と両生類を中心にパネルなどで展示紹介します。

期 間: 7月28日(土)~9月23日(日)

場 所: ただみ・ブナと川のミュージアム

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

奥会津ロックフェスティバル'12
2012.9/29 SAT 入場無料
[季の郷 湯ら里] 11:00開場



只見川電源流域振興協議会

TEL 0241-48-5525

FAX 0241-48-5575

URL <http://www.okucizu.net>